

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人靖美福祉会
施設名	あいあい保育園
報告者（役職）	池住 里枝（園長）
住所・連絡先	徳島県板野郡藍住町富吉字穂実 7 1 番地 1
	☎ 088-693-3886 E-mail ikezumi_rie@aiai2022.jp

○タイトル（保育計画）

コロナに負けない身体づくり

○主な助成備品

鉄棒、アクティブライダー、カラフルチェア

1. 保育計画策定の目的

令和4年4月に開園した当保育園でしたが、コロナ禍の影響をやはり受けて、開園3か月目にして関係者にり患者が確認され、園を閉めざるを得なくなってしまいました。新設園で、保護者の方との関係性もままならない中、閉園のお知らせは、大変苦しい事でした。園として何が出来るか？感染を食い止める環境作りと、感染症に負けない身体づくりが大切だと考えました。そのために、先ず、園庭遊びの充実を図りたいと考え、第一生命財団さんの助成金事業のお力をお借りして、戸外遊びの充実を図りました。

2. 具体的な実施内容

令和4年10月

大きなプレゼント到着

アクティブライダーエルゴが届きましたが、届いたエルゴは5台（助成金活用以外に園にて2台購入）。どの様に、子どもたちに届けようか、担任と相談し、当時最年長の4歳児6名に託すことにしました。4歳児が乗っている周囲に群がる3歳児の姿を見て、早々に乗るのを変わってあげている姿が見えて、微笑ましく思えた初日でした。次の日からは、登園順にまたがり、大人気遊具となりました。



又、同月に鉄棒、カラーバケツも順次届き、カラーバケツはその当時別れて過ごしていた乳児園庭に、そして鉄棒は主に幼児園庭へと置いてみました。次々と、ぶら下がったり、足を掛けたりして遊んでいたのですが、乳児園庭にも鉄棒が欲しいということで、一番低い鉄棒を乳児園庭に配置し、他3台は幼児園庭へと置きました。



カラーバケツでは、子どもたちが色んな遊びを作り出し、並べたり、重ねたり、ボールを入れたり、自分が入ってみたり・・・特に乳児クラスの子どもたちが扱いやすいサイズだったので、色々考えだしてくれました。又、鉄棒は、丁度、足をあげるとブラブラとなる事が面白く、乳児はよくぶら下がっていました。



又、幼児クラスでは、ぶら下がるだけでなく、色んな鉄棒の使い方が見られました。



アクティブライダー

初め、年長児が独占するのかと思いきや、異年齢で変わり合って遊ぶ姿も見ることができ微笑ましかったです。



令和5年4月

それぞれの遊具にも慣れ、遊び方が多様化してきました。又、異年齢で助け合っている姿も目に留まりました



こなせない子が職員に「どうしたら、そう乗れるようになるん？」と聞くと「前にこけたらええんよ」とのこと。的確なアドバイスだと感心しました。

令和6年1月

表現会

体力づくりを目標に外遊びを重視したためか、表現会にて自分の得意なことを発表して保護者の方に見て貰おうとなった時、演目に外遊びの競技を選び出す子どもが多く、前年度とは全然雰囲気の違った表現会となりました。

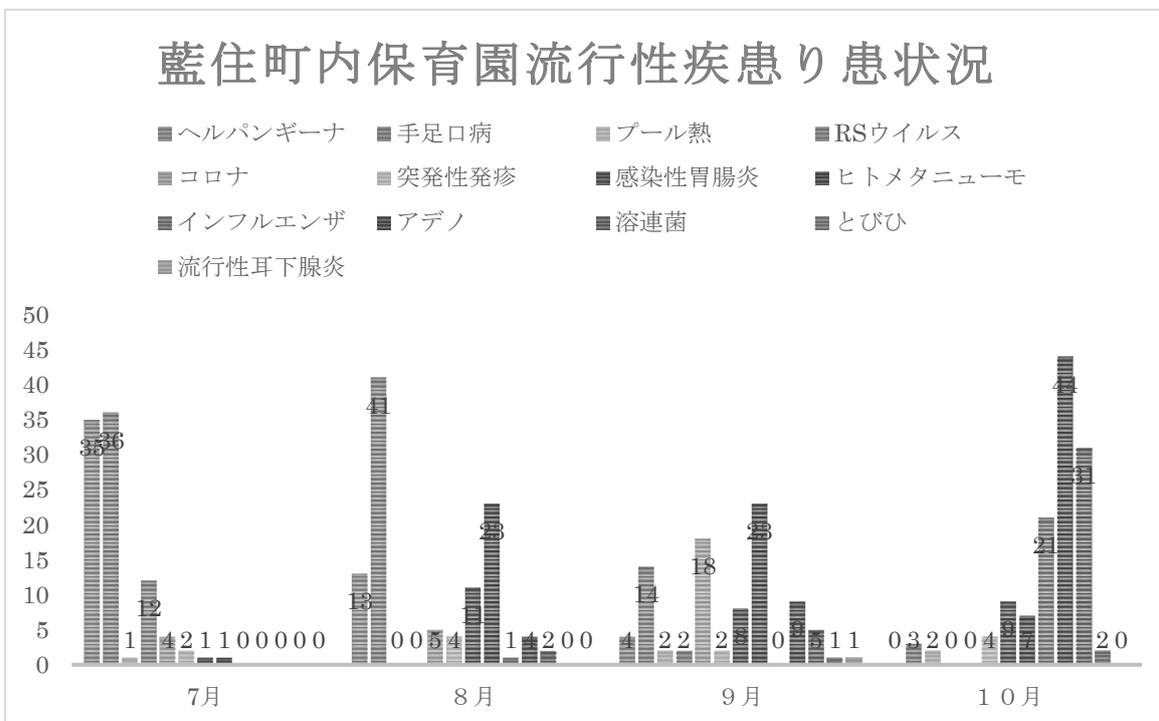


3. その成果と評価

令和6年1月の表現会の様子からも見られるように、子どもたちの身体能力が昨年と比べて格段と上がり、合わせて元気にもなりました。

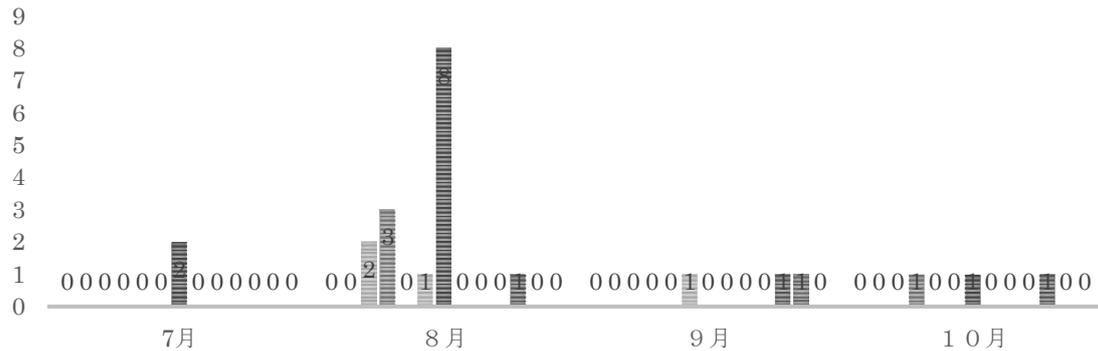


そのことは流行性疾患の園でのり患状況からも感じることができます。



あいあい保育園流行性疾患り患状況

■ヘルパンギーナ ■手足口病 ■プール熱 ■RSウイルス
 ■コロナ ■突発性発疹 ■感染性胃腸炎 ■ヒトメタニューモ
 ■インフルエンザ ■アデノ ■溶連菌 ■とびひ
 ■流行性耳下腺炎



同じ町内にて、流行性疾患が多数流行しているにもかかわらず、当園にはあまり入ってこなくて、り患者が出たとしても、園内で流行することが少なく、グラフにあるように、8月の感染性胃腸炎のみとなりました。

4. 今後の課題と展望

この様に、園庭遊びを強化したことで、子どもたちの体力は増強され、ウイルスに負けない身体づくりが進んでいると感じます。鉄棒では、それぞれの技への挑戦が進むことができる様に新しい鉄棒検定票の作成を進めたいと思います。又アクティブライダーをより乗りこなして遊ぶことができるように、地面に丸太を埋めてガタガタ道を作ったり、真砂土を積み上げて築山を作ってみたりしてみました。この様に今後も子どもたちが次々と挑戦することができる様、園庭での遊びを充実していきたいと思います。そして、より一層子どもたちの身体づくりが進み、ウイルスに負けない丈夫な身体となるよう進めていきたいと思っています。

以上